

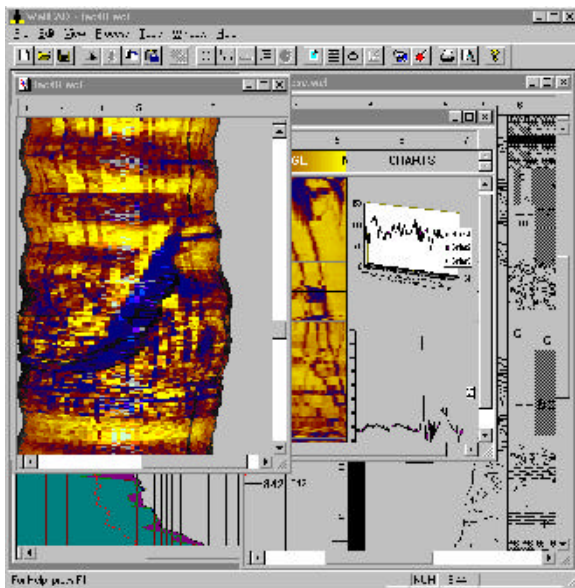
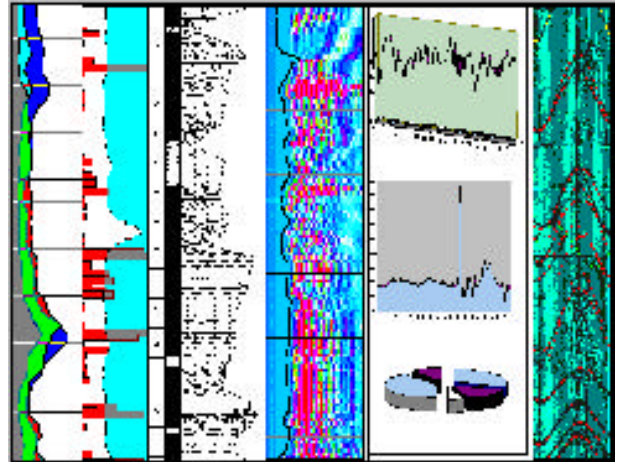
検層データ管理プログラム



WellCAD は、全ての検層データの管理およびレポート出力の機能を持つ、Windows 対応のプログラムです。したがってWindows の持つ特徴としての、最新のグラフィックスや編集・表示・解析・プロット等の機能を用いることができます。

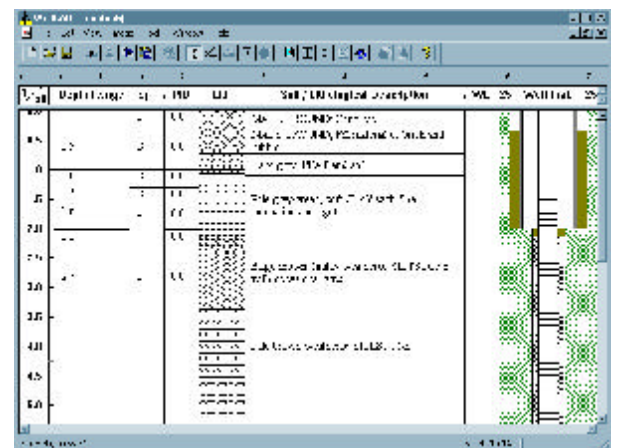
従来の諸検層データやフルウェーブソニック、ボアホールイメージング、ボーリング柱状図、現位置試験データさらに自由形式の検層データなど検層システムのタイプによる制限がありません。

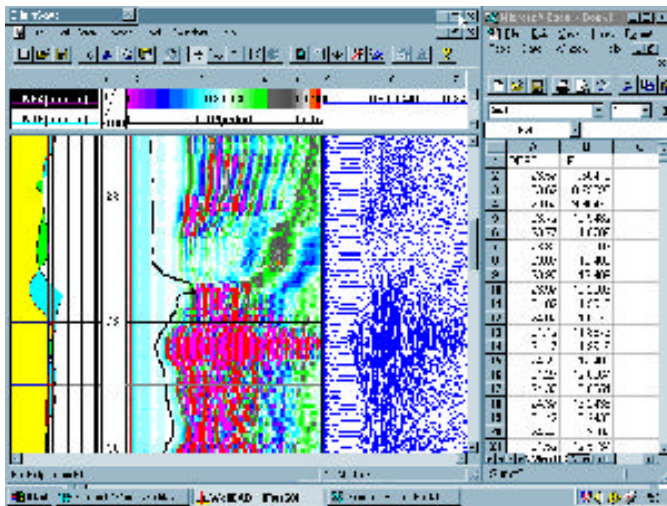
複雑な地層や検層サービス会社で行われているコンポジット・ログ等を Windows の環境下で A4からA0 までの広範囲なプリンターで描画することができます。



WellCAD は OLE2 対応であり、検層データの保存場所としてフレキシブルかつパワフルに利用できます。Windows の環境で OLE とクリップボードの機能を用いれば、他の OLE 対応ソフトウェアとの間でのデータ交換を、シームレスに行うことができます。

WellCAD version2.50では、あらゆる検層データに対応するべく、ファイルフォーマットが変更されました。また最新のhasp ライブラリーにより、記録あたり64,000 データ点の取り込みが可能です。またイメージモジュールが改良され、RGBログの処理も可能となりました。他に、BIPSフォーマットや MudLog、地質記号、3D-Logのイメージ内での小白色画素など改良が盛り込まれております。





Windows との対応性

WellCAD はWindows 環境のいかなるプリンターに対応します。

またデータの互換性もWindows 内で非常にフレキシブルで、標準的なフォーマットとして保存することができます。

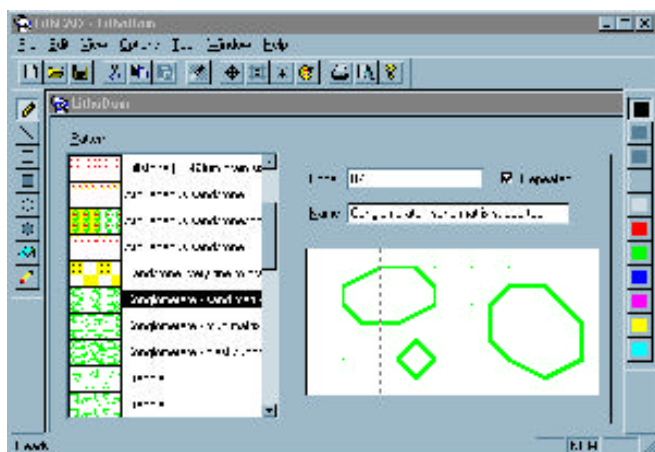
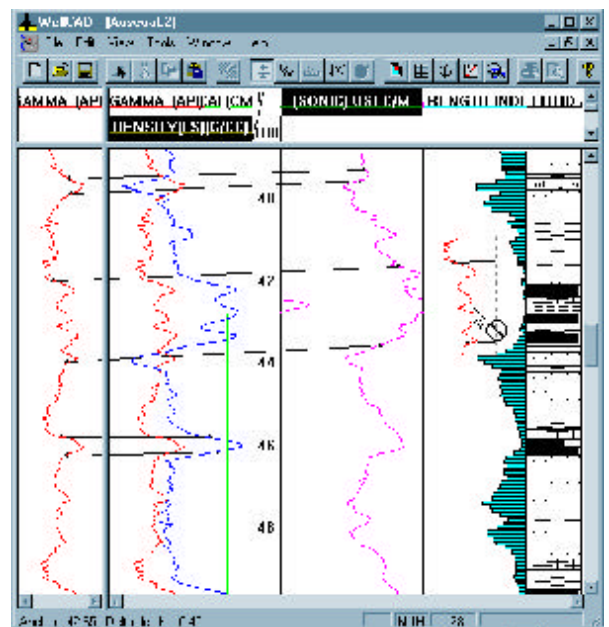
WellCAD ツール:

HeaderEditor --独立してズームや回転させる。
Formula Parser --方程式と検層データとのリンク、様々な方程式のブラウザ

Depth Matcher --深度方向の相違を圧縮/延長により合致させる。

Image and Structure LogProcessing Module --画像検層データの処理および応答形式による構造解析

Tabular Editor --ダイナミックなデータリンク



LithCAD は、地質記号の作成・編集機能を持ち登録済みの記号辞書とあわせて、多種にわたる地質に対応した柱状図を、WellCAD 内で対応させることができます。



お問い合わせは
株式会社 テラ
(テラ=Terra)

事務所

〒361-0035 埼玉県行田市堤根 1 5 9 3 - 1
電話 048-553-3033 ファックス 048-553-3047
E-mail:terrajp@cpost.plala.or.jp

本社

〒365-0064 埼玉県鴻巣市赤見台三丁目 1 5 - 4 0
電話 048-596-3147 ファックス 048-596-3255
Web:www.terrajp.co.jp